

地質情報展しずおか 体験コーナー -石を割ってみよう-・-顕微鏡で見る岩石・化石の世界-

西岡 芳晴¹⁾・春名 誠²⁾・石塚 吉浩¹⁾・工藤 崇¹⁾

石を割ってみよう

「石を割ってみよう」のコーナーは地質情報展の開始当初からの老舗企画ですが、会場の都合などで行えないときもありました。2002年はお休みしたこのコーナーですが、「地質情報展2003しずおか」では再び開設されました(2003年9月19日~21日)。

このコーナーのコンセプトは単純明快で、子供たちに実際の石に触って、割って、楽しんでもらおうというものです。そして、いろいろな種類の岩石・鉱物があることを実感し、親しみを持ってもらい、「石の見分け方」などの他のコーナーへの足がかりにしてもらえればと考えました。実際には、文字が多くて脳みそを使う展示が多い中で、体を動かして息抜きをしてもらうコーナーという面も大きいようですが...

今回は岩石13種類と鉱石1箱を用意しました。岩石は堆積岩、火成岩、変成岩をそろえて、静岡県産のものや見た目のきれいなもの、割れ方が特殊なものなどを選びました。鉱石は毎回人気があるのですが、入手が難しく今年は1箱だけ用意できました。



写真1 石割りコーナーのために用意した岩石・鉱石。

さて、「石を割ってみよう」コーナーの様子を少しご紹介しましょう。まず、床には岩石13種類と鉱石の入ったダンボール箱がずらりと並べられています。この中から子供たちに好きな石を選んでもらいます。子供たちはこの段階で結構楽しんでいて、また、選び方に個性があるので、対応しているスタッフも楽しめます。次に軍手とゴーグルをつけて完全武装してもらいます。その上で、ビニールで飛散防止をした“石割場”の中で、金床の上に石を置いて割ってもらいます。うまく割れたら1つ選んでもらって、ラベルといっしょにビニール袋に入れておみやげにしてもらいます。うまく割れない場合はこちらから指導しますが、それでも割れない場合には、別の石に代えたり、スタッフが割ってあげたりします。ラベルには岩石名と産地のほか、簡単に石のでき方が書かれています。おみやげがたんすの肥やしになったとしても、2-3年して発見された時にちょっと読んでもらえればいいかな...

このように、ほとんどただ石を割るだけなので、このコーナーに来られたことのない人にこの話をすると、「どこが面白いの?」と聞かれることもありま



写真2 石割りに夢中になる参加者達。

1) 産総研 地球科学情報研究部門
2) 産総研 地質標本館

キーワード: 地質石割り, 岩石, 鉱石, 薄片



写真3 顕微鏡で見る岩石・化石の世界のコーナーでは、岩石標本と薄片を用意しました。

す。ですが、なぜか子供たちはスタッフが首をかしげのくらいに夢中になります。一通り他の展示を回って2回目をやる子や、2日間続けてくる子もいます。1人が割り始めると、音につられてかだんだん人が集まってきて、10人近く並んで順番待ちの列を作ってしまうこともあります。割り方や楽しみ方も子供それぞれで、ひたすら破壊しまくる子や、全種類集めようと没頭する子もいます。なかなか割れない石を根気よく割りつづける子もいて、あきらめかけたときにバカッと割れると周りの子供たちからも歓声が上がったりします。対象としては小学生程度を想定していますが、小さい子でも、お兄ちゃんお姉ちゃんの真似をして、トンカチをもって石をコンコンするだけでも面白いようです。また、お父さん/お母さんの中にも、「意外と面白い」と言ってしまう方もいらっしゃいます。

石を割らない方へも、石の破片とラベルをいっしょにビニール袋に入れておみやげを作りました。ちょっと足をとめてきれいな石を持っていく方や、教材にするといい全種類もっていくような学校関係の方もいらっしゃいました。

コーナーを終了してみると、完売してしまった石も数多くあってたいへん盛況であったと思います。特に鉱石が足りなくて、2日目に来てがっかりしたリピーター君もいました。来られた方からは、化石やノジュールなどのバリエーションも欲しいとの要望



写真4 小さな子どもまで興味を持って顕微鏡を覗いていました。

もありました。また、岩石一覧や採取地点の地図などの情報が欲しいとの要望もありました。今後もより充実させてこのコーナーを続けていきたいと思っています。

顕微鏡で見る岩石・化石の世界

顕微鏡のコーナーも地質情報展のたびごとに少しずつ充実してきました。今年は新たに4個の岩石を加えて、合計29枚の岩石薄片と化石用プレパラート6枚を用意しました。今年追加された岩石薄片は、「石を割ってみよう」のコーナーの石のものです。「石を割ってみよう」で関心を持った石があったら、すぐに隣の顕微鏡コーナーでその薄片を見ることができるようになりました。顕微鏡は2台用意しました。開催期間中に光源の電球が切れたり、顕微鏡のステージが壊れるなどのトラブルもありましたが、訪れた方には初めて見る岩石や化石のミクロな世界を少しでも体感していただけたのではないのでしょうか。

NISHIOKA Yoshiharu, HARUNA Makoto, ISHIZUKA Yoshihiro and KUDO Takashi (2004): "Let's Hammer Rocks" and "the World of Rocks and Fossils under Microscope:"the special sections in the Geologic Exhibition in Shizuoka.

<受付：2004年1月15日>